**2024年3月27日**

**drupa 2024で組み込み型インクジェット新製品を発表**

*商業印刷、パッケージング/ラベル、セキュリティ印刷、パーソナルケアなど、さまざまな用途向けに印刷機能を補強する、新しいFUJIFILM DE1024 Digital Embellishment Printbar SystemとFUJIFILM 42X Printbar System*

インクジェットソリューションの世界的リーディングプロバイダーである[FUJIFILM Integrated Inkjet Solutions](https://inkjet-integration.fujifilm.com/)は、高速ドロップオンデマンド印刷を可能にするプリントバーシステムの新製品と既存の主力製品を「drupa 2024」に出展します。これは、ダイレクトメールのグラフィックス、トランザクション印刷、紙素材を使ったパッケージング、フローリング、商業印刷、紙器や段ボールへの印刷などの幅広い用途に向けたものです。drupa 2024は、5月28日から6月7日までドイツのデュッセルドルフで開催。出展ブースは、A02-A02-6（Hall 8b）です。富士フイルムのインクジェットソリューションは、既存の産業機器や生産工程に直接組み込めるように設計されています。

富士フイルムの新しい「DE1024 Digital Embellishment Printbar System」は、ラベル、紙器、軟包装といったさまざまなタイプのパッケージングにスポットニスなどのデジタル加飾を行うための製品です。ラベル印刷機やその他のナローウェブ印刷機に直接組み込んで、プレプリントに美しい光沢や触感効果を付加することができます。加飾機能を印刷機に組み込めるので、仕上げ段階でアナログ加飾を施す際の面倒な調整を減らすことができます。

drupa 2024では、花王コリンズのX-BAR® Universal Controllerと連携して効率的なワークフローを作り出す「FUJIFILM 42X Printbar System」も初公開します。モノクロと4色刷り、印刷幅が343 mm（13.5インチ）、686 mm（27インチ）、1,016 mm（40インチ）のモデルをdrupaで販売する予定です。このシステムを活用することで、お客様はエッジツーエッジのウェブ幅に対応した印刷サービスを提供することが可能になります。花王コリンズのX-BAR ® Universal Controllerは、使いやすく、単一のインターフェイスからさまざまな独自機能にアクセスできます。.pdfとIJPDSの両方の画像形式に対応し、ロジック駆動型印刷コマンドの読み取り・印刷機能、自動メンテナンスルーチン、ジョブを素早く切り替えられる高度なジョブキュー管理機能などを備えています。

FUJIFILM Integrated Inkjet Solutionsのバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー、Greg Balch（グレッグ・バルチ）は、次のように述べています。「8年ぶりに世界最大の国際印刷・メディア産業展であるdrupaに出展することを大変嬉しく思います。展示会では、OEMやブランドオーナーの皆さまに、既存の設備に高度なデジタル印刷機能を組み込める当社最先端の統合インプリントシステムをご紹介します。当社のブースにお越しいただければ、当社の革新的な製品ラインがあらゆる印刷ニーズに対応し、高い稼働率と合理化されたワークフローを実現しながら、過剰生産、廃棄物、インク使用コストの低減に重点を置いていることがお分かりいただけるはずです。エッジツーエッジの4色印刷が可能な使いやすいコントローラーを提供することでお客さまのニーズに応える。そのためのイノベーションをどこまでも続けていく。FUJIFILM 42K Printbar Systemは、その信念の表れでもあります。」

FUJIFILM Integrated Inkjet Solutionsの製品ポートフォリオには、既存の設備に後付け可能な4色刷り、商業印刷、ラベル印刷、加飾用システムと、カスタムのスタンドアロンプリンターを含む、7つのプリントバーシステムがあります。FUJIFILM SAMBA®やDIMATIX StarFire® SG1024などの富士フイルム独自のプリントヘッド技術を利用してワークフローを効率化するように設計されており、最大549 m/分の速度で高品質のプリントを生産できます。

drupaでは、新しいFUJIFILM 42X Printbar SystemとFUJIFILM DE1024 Digital Embellishment Printbar System、そして以下の製品をはじめとする当社の全ポートフォリオについて、富士フイルムのエキスパートがご相談に応じます。

* **FUJIFILM** [**46kUVインクジェットプリントバー：**](https://www.fujifilm.com/us/en/business/inkjet-solutions/inkjet-technology-integration/46kUV-inkjet-printbar) FUJIFILM 46kUVは、定評のあるFUJIFILM SAMBA®プリントヘッドを使ってさまざまなラベルや包装材に印刷できる富士フイルムの統合プリントソリューションです。UV硬化型インクを使用するドロップオンデマンド設計を特徴としており、印刷速度は最大152.4 m/分。業界トップクラスの高速印刷でワークフローを効率化します。
* [**X-BAR Powered by Fujifilm Inkjet Technology**](https://www.fujifilm.com/us/en/business/inkjet-solutions/inkjet-technology-integration/x-bar)**：**X-BAR Powered by FUJIFILM Inkjet Technologyは、従来のアナログ印刷機に、バーコード、テキスト要素、ロゴなどのデジタルバリアブルデータ印刷機能を後付けできるモジュール式製品です。印刷幅は4.5インチと9インチの2種類。部分印刷と全面印刷に対応します。ワークフローではIJPDSとPDFを処理可能。 馴染みのある直感的なユーザーインターフェースを備えているため、オペ―レーターも容易に使いこなせるようになります。X-BARシステムは信頼性が高く、定期的な整備も不要です。
* **コンフィギュラブル・インクジェットプリンター：**富士フイルムは、既製のデジタル印刷機では対応できない特殊なニーズを持つOEM向けに、カスタムメイドのデジタルインクジェットウェブ印刷機を提供しています。[FUJIFILM Integrated Inkjet Solutions](https://inkjet-integration.fujifilm.com/)が提供するコンフィギュラブル（注文時にカスタム設定可能な）インクジェットプリンターは、片面/両面印刷、モノクロ/4色刷り、水性インク/UV硬化型インクを選べるほか、トランザクション、ダイレクトメール、ラベル、宝くじ、紙器、メーラー、セキュリティ印刷、カタログなど、幅広い用途に対応できます。

Paragon社のダイレクトメール担当オペレーションディレクター、Bernd Wein氏は、次のように述べています。「Paragon DACH & CEEは、ドイツのシュバンドルフにあるダイレクトメール製造ラインの既設インクジェット印刷システムの代わりとして、富士フイルムの技術を選択しました。経営陣が評価したのは、富士フイルムがプリントヘッドから統合技術に至るソリューション全体を一手に提供している点です。当社は富士フイルムが提供するサービスに非常に満足しています。新しい42K Printbar Systemの導入により、稼働時間が拡大し、その一方でセットアップ時間は短縮するため、無駄を大幅に削減できます。」

drupa 2024では対面でご相談に応じます。ぜひ富士フイルムのブース（A02-A02-6（Hall 8b））にお立ち寄りください。出展中は[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/fujifilm-integrated-inkjet-solutions/posts/?feedView=all)でもイベントの最新情報を発信しますので、そちらもご覧ください。

以上

**富士フイルム株式会社について**

富士フイルム株式会社は、富士フイルムホールディングスの主要事業会社です。1934年の創業以来、フォトイメージングの分野で数多くの先端技術を開発してきました。現在はトータルヘルスケアカンパニーとして、これらの技術を医療・ライフサイエンス分野に応用し、「予防」「診断」「治療」の3領域で幅広い事業を展開しています。また、フラットパネルディスプレイの材料などの高機能材料事業や、グラフィックシステム事業、光学デバイス事業にも注力し、拡大を図っています。

**富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部について**

富士フイルムグラフィックコミュニケーション事業部は、印刷会社の頼れる長期的パートナーとしてビジネスの拡大を支援するために、質の高い高度な印刷ソリューションを提供することに重点を置いた組織です。安定した財政と研究開発への多大な投資により、業界トップクラスの印刷を可能にする独自技術を開発しています。  こうした技術には、オフセット印刷、ワイドフォーマット印刷、デジタル印刷用のプリプレスとプレスルームソリューション、印刷生産管理用のワークフローソフトウェアなどがあります。富士フイルムは、自社の製品や事業活動による環境への影響を最小限にとどめるための対策や環境保全に積極的に取り組んでいます。また、印刷会社に環境保全のベストプラクティスを周知することにも注力しています。詳細については、[fujifilmprint.eu](https://www.fujifilm.com/uk/en/business/graphic)または[youtube.com/FujifilmGSEurope](http://www.youtube.com/FujifilmGSEurope)をご覧いただくか、@FujifilmPrintをフォローしてください。

**FUJIFILM Integrated Inkjet Solutionsについて**

FUJIFILM Integrated Inkjet Solutionsのビジョンは、生産性、サステナビリティ、収益性といったさまざまな面でイノベーションをもたらすインクジェット技術の第一の選択肢となること。そして、品質、カスタマーフォーカス、柔軟性、パフォーマンスにおいて、お客さまの期待をはるかに超えることです。幅広い用途や産業分野のお客様にサービスを提供しています。

FUJIFILM Integrated Inkjet Solutionsは、富士フイルムインクジェットグラフィックコミュニケーション事業部内のインクジェットソリューションサービスです。システムデザイン、エンジニアリング、インテグレーション技術を活用しながら、多様な旧型システムを利用されているお客さまや、需要の拡大が著しいグラフィックアートや産業分野のお客さまをサポートします。

富士フイルムホールディングス株式会社（本社：東京）は、豊富な知見と独自のコア技術を活かし、ヘルスケア、マテリアル、ビジネスイノベーション、イメージングの各事業領域における製品・サービスを通じて「Value from Innovation」を提供しています。イノベーションへの飽くなき追求は、社会に価値をもたらし、世界中の人々の生活を向上させるためです。富士フイルムは、責任ある環境管理と、良き企業市民としての社会貢献活動に取り組んでいます。富士フイルムの「Sustainable Value Plan（サステナブル・バリュー・プラン）2030」については、[こちらをご覧ください](https://holdings.fujifilm.com/en/sustainability/plan/svp2030)。 2023年3月31日に終了した通期の当社売上高は、世界全体で約2兆9,000億円（為替レート134円/ドルで210億米ドル）でした。詳細については、[www.fujifilmholdings.com](http://www.fujifilmholdings.com/)をご覧ください。

*FUJIFILM、DIMATIX、SAMBA、およびSTARFIREは、富士フイルム株式会社およびその関連会社の商標です。X-BARは、花王株式会社の登録商標です。© 2024年 © 2024 FUJIFILM Dimatix, Inc.All rights reserved.*

**お問い合わせ先**

Daniel Porter

AD Communications

Eメール：dporter@adcomms.co.uk

Tel： +44 (0)1372 464470